

地球の未来を創るために

# TQ技術といふご提案も

<http://www.jomaca.join-us.jp/tqteian.pdf>

二〇二四年十二月吉日

TQ事業協会運営部長 山田 学まなぶ ©

[arigatou@image.ocn.ne.jp](mailto:arigatou@image.ocn.ne.jp)

※日本人の健康は、やまごころばの発声と、  
無関係ではありません。少し読みにくい  
ですが、あへて、旧かなづかひとさせて  
いただきます。

## 求道生活ぐだう

健康になりたくありませんか？

今の社会はまだ、こころが乱れやすいから、簡単ではありません。

わたしはあなたに生かされて生きます。

あなたの悩み苦しみを受け、あなたとわたしがともに、悟り楽しみへ、道を求めあひます。

悟り楽しみへ、生かされて生きます。

道徳の商ひです。道徳の商ひが、すべての商ひを統一してまわります。

健康になりたくありませんか？

まづ、不健康な生活を、修正しませんか？

四六時中、瞬間瞬間にて、自身の体内の生理を認識し、生理にしたがひつづけます。

生理にしたがふ、姿勢動作、呼吸、食事と排泄、人間関係とくに異性関係、精神、生活環境。

悩み苦しみに、あへてただ感謝し、そこから、悟り楽しみへの必然の道を、求めつづけます。

このことに、徹底尽力し、あとは必然におまかせします。

健康生活への道を、求めつづけます。求道生活ぐだうです。

## 現代医療やアジア診療

他方、現代医療を信じたい人は、それも否定しません。ただし、現代医療は、薬の成分にとらはれ、手術することにとらはれ、計測や制御の器械に、とらはれてゐる。生命の理の本質や、人間のこころの本質から、現代人の不健康生活を、

修正しようとはしていません。そこに、人間の自主進化は、ありません。

求道生活と、現代医療の、あひだに、アジア診療があります。病人や半病人の生活を観察し、その生活環境に、適正な刺激を与へつづけることにより、健康を促進します。近代科学にてまだ理解できない、不思議な効果もあります。数千年の伝統の重みです。が、求道生活のやう、ひとりひとりが自主進化する、未来性までは、ないのです。

アジア診療には、中国風・インド風・チベット風・イスラム風の種別もあります。

#### 失敗からの転化

さて、アジア診療の伝統と創造として、新しい提案をいたします。

日本人であるわが実父・山田俊郎(としを) (1926～1996) が、発明したものです。T Q 技術と呼びますが、TとQは、先行した研究への敬意なのであり、本質の意味はありません。

植物の花が開く時、どういふ物質が関与してゐるか。名古屋大学にて研究がありました。すでに一九六〇年代から七〇年代にかけ、その物質が、

T (Tocopherol) と Q (Quinone)

であることを、つきとめた。

問題は、そのTとQが、驚くほど薄い状態にて、関与してゐる。

さらに問題は、同じ驚くほど薄い状態なのに、そのうちのとても微妙な濃度変化により、生命がもっとも強く促進されたり、なんと、生物が無生物化されたりする……

このあたりの精密実験が課題となつた時、化学実験の腕のある父が、学外協力しました。

ここまでは、化学成分の話なのです。

父は次のやう、この精密実験にてのある失敗から、未知の物理現象を、発見したのです。ここからは、現代医療がとらはれてゐる、化学成分の話ではなく、へ未知を拓く物理の話に、転化してゐたのです。それが、アジア診療の不思議な効果を、未知の物理から説明するものでもありました。

#### 法則性か

TとQといふ物質は、花が開くことに関与するのみでなく、あらゆる生命を促進したり促進しないことも、わかりました。

それで父のイトミミズ実験です。

二千本の試験管に、TとQを、問題のすこぶる薄い状態にて、そのうちにてとても微妙に濃度変化させてゆく。すべての試験管に、イトミミズを入れ、その生

命がどう促進されるかされないかを、観察する。

微妙にもっとも薄い状態から、順に濃くしてゆくと、生命促進が弱まり、なんと、生物が無生物化する点に、行きついた。イトミミズは動かない、とともに、腐敗もしない……この点を、S点(Static)<sup>スタティック</sup>と名づけた。つづいてさらに濃くしてゆくと、今度は生命促進が強まり、もっとも強く促進される点に、行きついた。この点を、K点(Kinematic)<sup>キネマティック</sup>と名づけた。つづいてさらに順に濃くしてゆくと、また生命促進が弱まった。

このやう、微妙な濃度変化と生命促進の、法則性があつた。

#### ある予感

ここに、父の技術屋としての慎重さがある。

そして、とても意外な失敗から、〈未知を拓く物理〉の話に、転化した。

くりかへし同じ結果が出るのでなくては、法則性把握と言へない。父は、同じ実験の、二回めを行つた。

すると、なんたること。微妙な濃度変化と生命促進の関係が、まるででたらめとなつた。これは、どうしたことなのか。試験管を洗ふ腕には、自信がある。二回めにおいて、微妙な濃度変化設定に、狂ひがあつたとは、とても考へられない。なのに、でたらめの原因、まったく不明……

こころの暗闇のなかから、初心に帰り、新しい試験管二千本にて、同じ実験の、三回めを行つた。

なんのことはない。一回めとまったく同じの、法則性が観察された。

父はある予感を胸に、三回めの試験管すべてに、番号を付けた。父の腕にて、試験管を洗つた。

洗つた試験管を、番号順に並べ、次の別の実験を行つた。

#### 推理

実に、TとQそのものを入れず、すべての試験管に、蒸留水のみを入れた。その状態にて、イトミミズへの生命促進のあり方を、観察した。

生命促進が、弱まる↓S点↓強まる↓K点↓弱まるといふ、一回め・三回めと同様の傾向が、観察された！

父はなにをどう推理したのか。今までの科学には無い、未知の概念なのではあるが……TとQといふ有機物の効果が、試験管のガラスといふ無機物に、転移するのではないか。なので、蒸留水のみにて、今度は、ガラスからの効果として、一回め・三回めと同様の傾向が、得られたのではないか。

むろん、そんなことがあるとはつゆ知らず、二回めにては、一回めの試験管を、ばらばらに並べかへてゐた。T・Qからの効果と、転移したガラスからの効果が、

混乱し、当然に、でたらめなあり方が、観察されたのだ：

T・Qとガラス。化学成分として無縁。なのに、生命を促進する効果は、転移する。現代医療がとらはれてゐる、化学成分の話ではなく、〈未知を拓く物理〉の話に、転化しました。そして、父自身もかなり後年に、この重要発見と、アジア診療との関係について、知るところとなりました。

#### 原液

父は、技術屋なのである。

無縁の化学成分を超え、生命を促進する効果が転移するといふ、物理現象がある。

なら、同じ転移をさせる、物理技術もあるはずなのだ。

また、とてもとても微妙な濃度変化により、S点となつたり、K点となつたり……これではとても危くて、使へる技術とはならない。

S点の特定濃度における生命促進効果や、K点の特定濃度における生命促進効果のみを、なんらかの安定物質へ転移させ、固定化することはできないものか…。

と、父の試行錯誤が開始されました。そしてそれは、実現しました。

S点の特定濃度における生命促進効果のみを、転移させた、S点原液。K点の特定濃度における生命促進効果のみを、転移させた、K点原液。これらが、実現したのです。

ある経緯もあり、K点原液の一部が、世間にもれた。父やわたしとは別の方がたが、それに、「 $\pi$ (パイ)ウォーター」といふ名もつけた。世間の一部にて、不思議な水として、騒がれました。

父は、そんな世間をよそに、黙々と、K点原液のあらゆる生物に対する応用可能性について、研究をつづけました。

#### 普遍化

無縁の化学成分を超え、生命促進効果を転移させる、物理技術。〈未知を拓く物理〉の技術。

そのうちに父は、この方面の技術において、さらなる技術革新をも、なし遂げました！

ある物理装置を、発明した。

その物理装置に、水を張る。水中の一方に、たとへば、肝臓の漢方薬を置く。水中の他方に、ステレンスを置く。そして一定時間、装置に一定の作動をさせる。

すると、有機物である肝臓の漢方薬なりの、特殊な生命促進効果を、無機物であるステレンスへ、転移させうる。そしてステレンスにおける、肝臓漢方薬風な生命促進効果の、強さについては、K点と同等、おそらく自然界最強としうる。

この技術革新はすでに、この方面の技術の、普遍化です。われわれは、先行研究における、たまたま発見・発明のきっかけとなった、TとQといふ物質の、その特異性からは、卒業したのです。

物理装置の水中の一方と他方に置く物質は、かなりの自由性がある。実質、TとQといふ物質そのものを、必要とはしなくなつたのです。

でも、われわれは、入り口となつた、名古屋大学における貴重な研究に、あくまでも敬意を表し、誤解を恐れず、TQ技術と、呼びつづけます。ただし、今のこの物理装置の技術においては、TとQに、本質の意味はないのです。

また、今となつては、S点原液、K点原液も、過去の技術となりました。

「πウォーター」の方がたが、「πウォーター」の原液が無くなりつつある…。」とも、表明されたやうです。でも、今のわたしの手元には、すぐに使へる状態にて、K点原液が、かなり在庫されてゐます。われわれの今の日常においては、使ふ必要がないからなのです。このK点原液の在庫を、信頼できる方には、販売させていただく準備もごさいます。

#### TQ処理の保護

今のTQ技術にて、先述の物理装置を用ゐる工程、すなはち根幹の工程を、TQ処理と呼びます。TQ処理工程は、事業機密です。TQ処理工程の今の管理者は、わたし・山田学です。

この〈未知を拓く物理〉の技術から観て、TQ処理工程を開示するには、とても残念ながら、今の社会の道徳や学問や法律などが、未発達です。この状態にて開示すれば、社会の混乱が、目にみえるのです。

それで父とわたしは、半分の努力を、TQ処理工程を保護し推進できる、〈新たな道徳や学問の自主開拓〉に、注いでまゐりました。また、すでに父の生前から、わがTQ技術は、国際的な情報戦の渦中にあります。羊の一般市民であつたわたしも、かなり深刻な社会勉強を、させていただきました。

わが日本国においても、経済安全保障の体制が、整備されつつあります。TQ技術も、その体制により保護され推進されるべしと、考へます。

#### 学問の世界史へ

表面上、TQ技術に似たものは、わが日本社会のサブ・カルチャーにても、流行りつつあります。そして、「波動」「エネルギー」「転写」「情報」などの語も、ひとり歩きしつつあります。しかし残念ながら、さしあたりやむをえずの、それら俗語のままでは、学問の世界史と、正しく接続しません。それら俗語を批判しつつのTQ技術解説は、次を用意いたしてをります。

〈TQ しませんか?〉

表紙 [http://www.jomaca.join-us.jp/tq\\_fine.pdf](http://www.jomaca.join-us.jp/tq_fine.pdf)

本文(10枚) <http://www.jomaca.join-us.jp/tq.pdf>



### アジア診療の伝統と創造

さて、父がTQ処理装置を發明して以降、アジア診療、とくに中医学の氣功に詳しい人とのご縁があり、「これは氣功の現象ととてもよく似てゐる。」といふことになりました。

「氣功師が、物質に、氣を込める過程」。それには、認識の理の面と、生理の面と、物理の面とが、ある。わがTQ処理装置は、偶然、その物理の面のみを、抽出してゐた。氣功師の、天性も、修業も、必要とせず、氣功師以上のことを、実現可能。しかもわりと、短時間、低費用。すなはち、TQ技術は、〈氣功の工業化〉なのである。〈薬石(やくせき) (パワー・ストーン)の人工生産〉なのである。と、結論されました。アジア診療の伝統と創造です。

### 産業までも

今まで、TQ技術に熱心な方がたにより、さまざまな商品開発もなされました。数千人のファンの会が成立したことも、あります。実に多くの方がたに、悦ばれてまゐりました。でも、まだまだ序の口なのであると、思ひます。

このTQ技術は、将来において、日本と地球の人びとに、どれほどに有益であらうか！これはおそらく、電気や磁氣の産業に代る、ひとつの産業までを、なすのであり、その応用開発は、西暦二〇〇年までも、つづくのではなからうか。そのやう、われわれは、想像をたくましくいたしてをります。

不思議なのに、ひと息つける、TQ技術…。生命の理に、忠実であるからでせう。地球と人間のご縁である、温泉のやうに…

個人から地球までの、または精神文化への、応用可能性。

飲食、皮膚接触、生活環境調整などを通し、人間の健康や美容に、寄与…

住居や乗物の快適性にも、寄与…

食物の流通や調理において、健康性や効率性に、寄与…

農業・水産業・牧畜業・林業の、健康性と効率性に、寄与… それは、土壤改良・空氣活性・水質改良・栄養調整・汚物処理などによる。

環境浄化に、寄与… それは、汚泥処理、病原ウイルス・細菌への対応、有害電磁波・放射線への対応、精神安定への空間調整、その他による。

神社や、仏閣の、氣品にも貢献しうるか… 茶道や、華道などの、氣品にも貢献しうるか… 地球の健康と平和への、象徴品も創りうるか…

## 次代育成

一九五六年生れのわたしは、TQ処理管理者の次代候補を、どう発見し、どう育成させていただくか。真剣に、急いではをります。あるお店にて、わたしが還暦祝ひを受けた時、わたしが、誓ひの文を、読み上げた。その一部を、ここに引用いたします。

父の山田俊郎より、TQ技術なるものを、継承いたしました。

結果、社会の裏の裏、や、学問の裏の裏、これを追究せざるをえなくなつた。ともかくにも、生活をつづけるためでした。

今のわたしは、幸ひにも、六十年生きることを、たとへ、あと二回ほどくりかへしても、足りないぐらゐ、さまざま分野に、追究意欲がございます。

こんな幸運な人間に似る、次代の若者を発見いたし、後継体制を、少しづつ、構築してまゐります。

右、ここにお誓ひを申し上げます。

日本と地球の未来のため、次代育成は、あくまでも厳格に、実施します。が、ここに、よりひろい方がたからご協力をいただくべく、自由なご提案をも募集いたします。より善いご提案とわたしが想ふものを優先に、真剣なご相談をさせていただきます。まゐります。

## 逆の方向から

健康になりたくありませんか？

地球の未来を創るために、まづ、冒頭に示した、求道生活を、優先すべし。

次に、わがTQ技術を含む、アジア診療を検討する。

そして現代医療も、否定はいたしません。

かういふ、今の権威とは逆の方向から、想ひ直してみるのも、いかがでせうか。

〈未知を拓く物理〉の技術も、ともに、応用開発してまゐりませう。アジア診療の不思議さを、しだいに、理解してまゐりませう。

TQ技術公式サイト **氣功の工務店**

<https://tsugie.net>

